

授業科目名	助産診断・技術学 (2300264)		
時間割名	助産診断・技術学 (13205)		
時間割担当	服部律子 高田勝子		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・3		

授業の目標・概要

この科目では、妊婦とその家族への助産実践の基本となる助産診断と助産援助について学びます。

学習の到達目標

1. 妊娠期の助産診断の視点とアセスメントツールについて説明できる。
2. 妊娠期の助産診断のための技術についてその原理と方法を説明できる。
3. 正常な経過をたどる妊婦への助産援助について説明できる。
4. 正常逸脱のリスクとその徴候、発生時の対処法と予防方法を説明できる。
5. 妊娠期の助産診断過程と助産計画立案のプロセスを、紙上事例を用いて展開できる。

授業方法・形式

講義と演習

授業計画

- 第1回 ガイダンス 妊娠期の助産過程
- 第2回 妊娠初期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール、妊娠初期の正常逸脱
- 第3回 妊娠初期の助産診断技術
妊娠の成立の診断技術、胎児心音聴取、妊娠経過の診断技術
- 第4回 妊娠初期の妊婦と家族への助産ケア
妊娠の受容、妊娠初期のマイナートラブルへのケア、妊娠中の生活
- 第5回 妊娠中期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール、妊娠中期の正常逸脱
- 第6回 妊娠中期の助産診断技術
胎児の発育状態の診断技術、妊娠経過の診断技術
- 第7回 妊娠中期の妊婦と家族への助産ケア
親になる準備、異常の予防、マイナートラブルへの対処
- 第8回 妊娠後期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール、妊娠後期の正常逸脱
- 第9回 妊娠後期の助産診断技術
CTG判読、胎位胎向、妊娠経過の診断技術
- 第10回 妊娠後期の妊婦と家族への助産ケア
分娩準備、異常の予防、マイナートラブルへの対処
- 第11回 事例を用いた助産診断過程の実際
- 第12回 保健指導案作成方法
- 第13回 保健指導案作成方法
- 第14回 妊婦へのケア演習
- 第15回 まとめ（発表会）

成績評価の基準

定期試験70%、レポート30%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

妊娠初期、中期、後期の各単元終了後には、実習で使用できる「実習ノート」を作成してください。
授業前には、各回テーマと関連する部分の教科書を読み、質問を書き出して授業に臨んでください。
授業後には学んだことを復習し、1つ以上の質問を考えてきてください。
保健指導案の作成は、授業時間外の取り組みが必要です。

履修上のアドバイス及び留意点

周産期医学での学習内容や、関連する母性看護学・助産学の科目での学習内容と統合しながら学ぶよう心がけてください。

教材・教科書

我部山キヨ子編、助産学講座6 助産診断・技術学 [1]妊娠期、医学書院

参考書

参考書等は、適宜、提示する。